

ソウ  
梟

品(口)・木

木の上に鳥が集まって口をそろえてさえずっている。

- ① さわがしい  
② あわたたしい

注 音のソウは騒ソウ(さわがしい)。

ソウ

× 噪 ① わいわいがやがやとさわがしい

→ やかましい 例 喧ケン噪

→ さわぐ 例 蛙鳴アメイセンソウ蝉噪

ソウ

× 譟 ① 噪と同音同語

→ さわぐ 例 狂譟(狂ったように騒ぐ)

ソウ

× 躁 ① わいわい騒ぎながら歩き回り踊り回る

→ 騒ぎ踊る 例 狂躁(狂ったように騒ぎ踊り回る)

ソウ

燥 ① 火をぱちぱちと燃やす

→ かわかす 例 乾燥・高燥

ソウ

× 澡 ① 水をばちやばちやとさせる

→ あらう 例 澡洗・澡室(ふろ場)

ソウ

藻 ② 水の中でゆらゆらとあわたたしくゆれている草

→ も(水草) 例 海藻

藻のゆらぐのは美しい

→ 詩文の美しい表現 例 文藻・詞藻

ソウ

操 ② 手をあわたたしく動かす

→ あやつる(巧みに) 例 操業・操作

→ 行ない(正しい) 例 操行・貞操

ソウ

繰 △ 糸を繰る

② 糸車をがらがらとあわたたしく動かす

→ 糸をとる

→ 糸をくる(繊維を何本も合わせるため次から次へ繭まゆの糸口を拾っては“くり込む”。今は、“繰り上げる”“繰越金”などと使う)

ソウ

× 燥 ② 心がそわそわとして落ち着かない